

ServerView Suite

PrimeCollect

Edition August 2009

製品名称の表記

本書では、本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter Microsoft® Windows Server® 2008 Foundation Microsoft® Windows® Small Business Server 2008 Standard Microsoft® Windows® Small Business Server 2008 Premium	Windows Server 2008	Windows
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation Microsoft® Windows® Web Server 2008 R2	Windows Server 2008 R2	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition for Itanium-based Systems Microsoft® Windows® Small Business Server 2003	Windows Server 2003	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 x64	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition Microsoft® Windows® Small Business Server 2003 R2 Microsoft® Windows® Storage Server 2003 R2, Standard Edition	Windows Server 2003 R2	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 R2 x64 または Windows Server 2003 R2	

製品名称	本文中の表記	
Red Hat Enterprise Linux 5	Red Hat Linux	Linux
	RHEL5	
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4)	RHEL4	
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4)		
SUSE Linux Enterprise Server 11	SuSE Linux	
	SuSE Linux SLES11 または SLES11	
SUSE Linux Enterprise Server 10	SuSE Linux SLES10 または SLES10	
VMware ESX 4	ESX4	
VMware ESX 3.5	ESX3.5	

著作権および商標

Copyright © 2009 Fujitsu Technology Solutions GmbH.

All rights reserved

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

BrightStor、ARCserve は、CA, Inc の登録商標です。

VMware、VMware ロゴ、VMware ESXi、VMware SMP および VMotion は VMware, Inc の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

目次

1	はじめに	7
1.1	本書の対象者	7
1.2	本書の表記	8
2	Windows 環境での PrimeCollect	9
2.1	PrimeCollect の起動	9
2.1.1	管理サーバ (ServerView Operations Manager) から オンライン起動する場合	9
2.1.2	PRIMERGY サーバ上でオンライン起動する場合	11
2.1.3	PRIMERGY サーバ上でオフライン起動する場合	13
2.2	PrimeCollect の実行	14
2.2.1	データの収集および格納	14
2.2.2	zip ファイルの内容について	16
3	Linux および VMware 環境での PrimeCollect	19
3.1	PrimeCollect の起動	19
3.1.1	管理サーバ (ServerView Operations Manager) から オンライン起動する場合	19
3.1.2	PRIMERGY サーバ上でオンライン起動する場合	21
3.2	PrimeCollect の実行	23
3.2.1	データの収集および格納	23
3.2.2	zip ファイルの内容について	25

1 はじめに

本書は、PrimeCollect について説明しています。PrimeCollect は PRIMERGY サーバのハードウェア、ソフトウェア情報を収集し格納するソフトウェアです。PrimeCollect が収集した情報は、問題が発生した際、富士通のテクニカルサポートによる分析を容易にし、問題をより早く解決する手助けとなります。

このマニュアルは、ServerView suite 共通マニュアルです。地域、言語、機種、OS によって、サポートされない機能の説明が含まれている場合があります。



注意！

本機能は、特定エリア向けの機能です。日本国内向け TX120 S2 と TX100 S1 では、サポート対象外となります。

1.1 本書の対象者

本書はシステム管理者、ネットワーク管理者、およびハードウェアやソフトウェアの十分な知識をもったサービス技術者を対象としています。

1.2 本書の表記

本マニュアルでは次の表記が使用されます。






	注意 この記号は、人的傷害、データ消失、機材破損の危険性を示しています。
	この記号は、重要な情報やヒントを強調しています。
	この記号は、操作を続行するために行わなければならない手順を示しています。
斜体	コマンド、ファイル名、およびパス名は 斜体 で表記されています。
固定フォント	システム出力は、固定フォントで表記されています。
太字の固定フォント	キーボードから入力する必要があるコマンドは、太字の固定フォントで表記されています。
<abc>	山カッコは実数値に置き換えられる変数を囲っています。
<u>Key symbols</u>	キーは、キーボード上の該当するキーを表しています。また大文字を入力する必要がある場合は、シフトキーも表示されています。 例：大文字 A の場合、  -  2つのキーを同時に押す必要がある場合は、それぞれのキー記号の間にハイフンが表示されています。

Table 1: 本書の表記

マニュアル内の本文や項を参照する場合は、章や項の見出しを参照先として示し、その章や項が始まるページを記載しています。

画面出力

画面出力は、使用するシステムによってある程度異なります。そのため、お使いのシステムで表示される出力は、本マニュアルの記載と若干異なる可能性があります。また、利用できるメニュー項目もシステムによって異なる場合があります。


2 Windows 環境での PrimeCollect

2.1 PrimeCollect の起動

PrimeCollect の起動方法は、お使いの環境により異なります。

2.1.1 管理サーバ（ServerView Operations Manager）からオンライン起動する場合

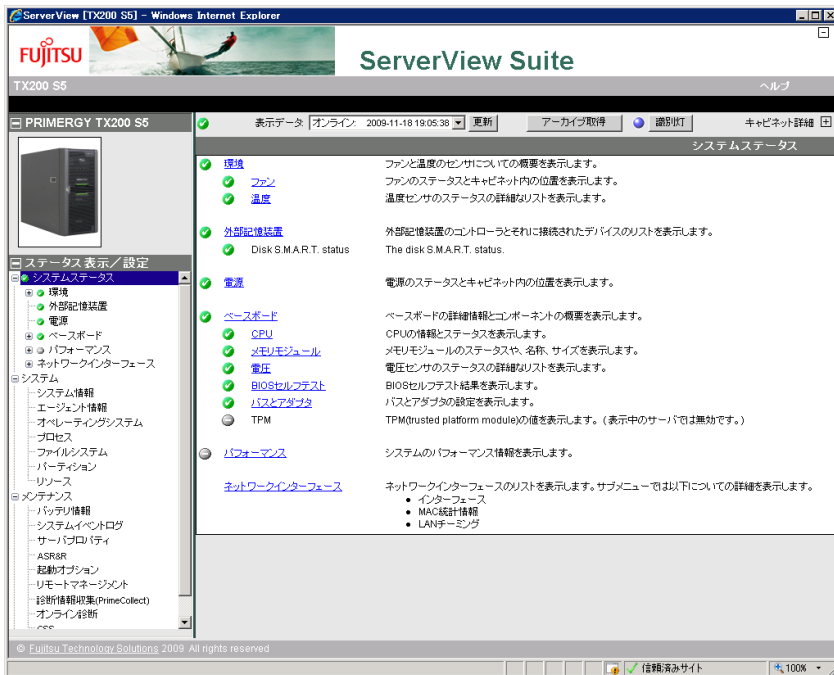
要件

- 管理サーバでは V4.91 以降の Operations Manager をインストールしてください。
- PRIMERGY サーバ上では、OS として Windows Server 2003、Windows Server 2008、および V4.91 以降の ServerView エージェントのインストールが必要です。
お使いの OS 用の ServerView エージェントは、ServerView Suite DVD 1、また富士通の Web ページより入手できます。
 ServerView エージェントをインストールする際、PrimeCollect も自動的にインストールされます。
- RAID 情報を収集するには、ServerView RAID バージョン 2.3 以降、または LSI Global Array Manager（後者は LSI コントローラのみに対応）を必ず PRIMERGY サーバにインストールしてください。


管理サーバ（ServerView Operations Manager）からオンライン起動する方法

ServerView Operations Manager から PrimeCollect を起動する方法は、次のとおりです。

- ▶ 対象とする PRIMERGY サーバを、サーバー一覧から選択します。
- ▶ 「メンテナンスメニューの診断情報収集 (PrimeCollect)」を選択します。




2.1.2 PRIMERGY サーバ上でオンライン起動する場合

 Windows のフルメモリダンプがある場合、こちらについても zip ファイルを取得してください（サポート時に必要となります）。

要件

- スタートメニューから PrimeCollect をオンライン起動する場合、OS として、Windows Server 2003、Windows Server 2008、および V4.91 以降の ServerView エージェントのインストールが必要です。
お使いの OS 用の ServerView エージェントは、ServerView Suite DVD 1、また富士通の Web ページより入手できます。

 ServerView エージェントをインストールする際、PrimeCollect も自動的にインストールされます。

- ServerView Suite DVD 1 から PrimeCollect をオンライン起動する場合、OS として、Windows Server 2003 または Windows Server 2008 のインストールが必要です。DVD のバージョンは、V10.91.2 またはそれ以降のものを使用してください。この場合、ServerView エージェントをインストールする必要はありません。
- RAID 情報を収集するには、ServerView RAID バージョン 2.3 以降、または LSI Global Array Manager（後者は LSI コントローラのみに対応）を必ず PRIMERGY サーバにインストールしてください。

PRIMERGY サーバ上でオンライン起動する方法

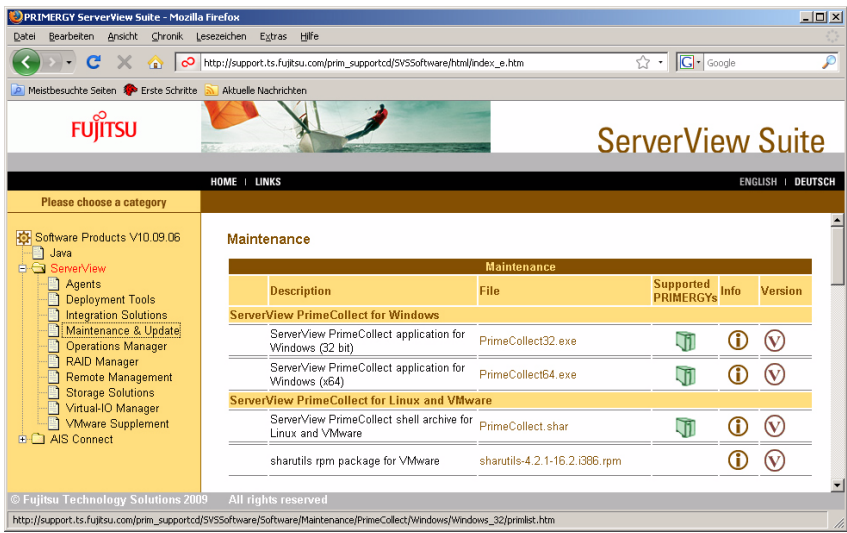
- ▶ PrimeCollect は、下記のいずれかの方法で起動します。

Windows のスタートメニューより開始する

「プログラム」 → 「Fujitsu ServerView Suite」 → 「Agents」 → 「Prime Collect」

ServerView Suite DVD 1 より開始する

「ServerView」 → 「Maintenance & Update」 ディレクトリ を開き、
PrimeCollect32.exe (32bitOS の場合) または *PrimeCollect64.exe* (64bitOS の場合) を実行してください。



2.1.3 PRIMERGY サーバ上でオフライン起動する場合

要件

- ServerView Suite DVD 1 は、バージョン 10.9.12、またはそれ以降のものをお使いください。DVD の Windows PE から実行されるため、PRIMERGY サーバ上の OS は問いません。

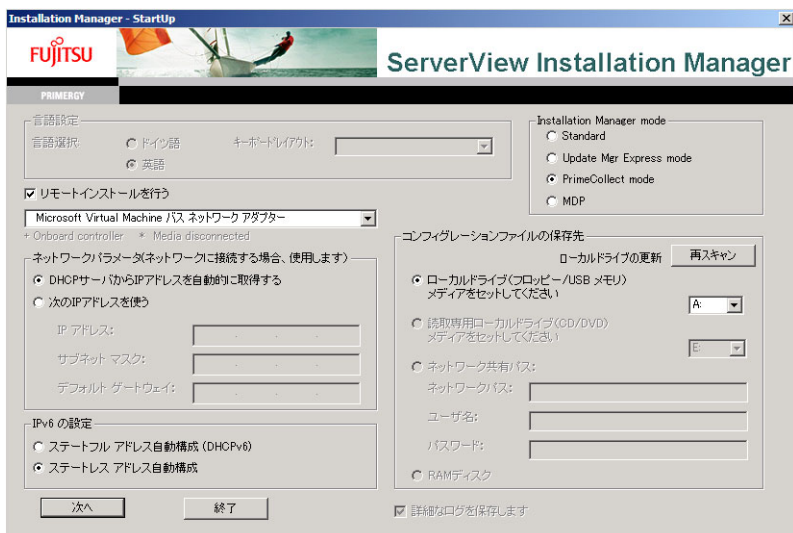
i この方法では、OS のバージョンやドライバなどといった、サーバ上にインストールされている OS についての情報を PrimeCollect で得ることはできません。これらの情報は、別途サポートへご提供ください。

- RAID 情報を収集するには、ServerView RAID バージョン 2.3 以降、または LSI Global Array Manager（後者は LSI コントローラのみに対応）を必ず PRIMERGY サーバにインストールしてください。

PRIMERGY サーバ上でオフライン起動する方法

次の方法で PrimeCollect を起動します。


- ▶ ServerView Suite DVD 1 からサーバを起動します。
- ▶ 最初のダイアログボックスで「PrimeCollect mode」を選択します。
- ▶ 「次へ」をクリックします。



2.2 PrimeCollect の実行

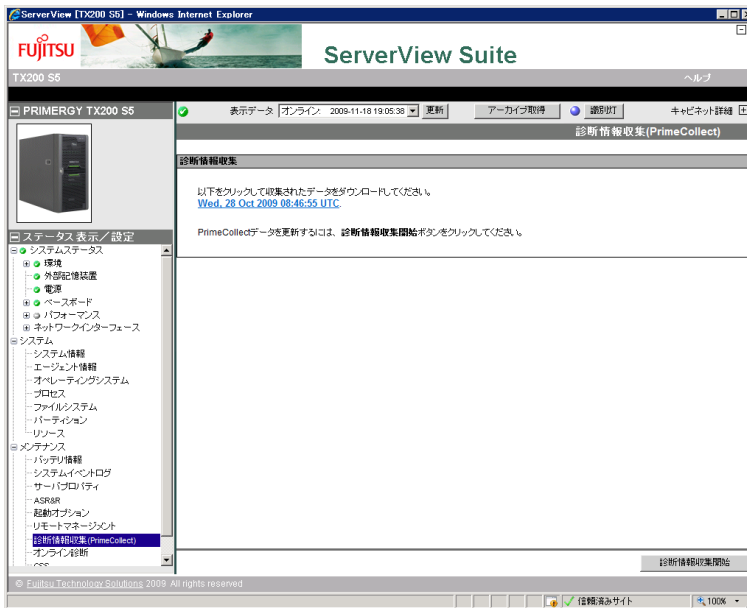
PrimeCollect の実行は、以下の 2 段階からなります。

- (1) ハードウェア、ソフトウェアデータの収集
- (2) 上記の結果を、1 つまたは 2 つの zip ファイルに格納

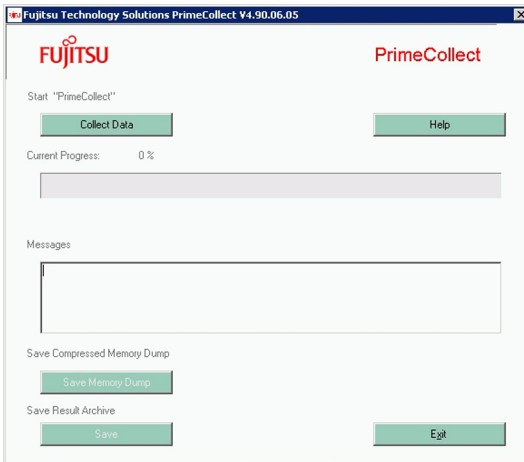
 PRIMERGY サーバ上でオンライン起動した場合、Windows のフルメモリダンプを、2 つめの zip ファイルとして別途格納することができません（サポート時に必要となります）。



2.2.1 データの収集および格納

PrimeCollect を管理サーバ（ServerView Operations Manager）から起動した場合の画面例



- ▶ PrimeCollect を起動した後、「診断情報収集開始」ボタンをクリックしてデータを収集します。
「診断情報収集開始」ボタンをクリックすると、情報収集を開始し、完了すると、結果ファイルへのリンクが表示されます。
- ▶ 表示されたリンクをクリックして結果ファイルを保存します。

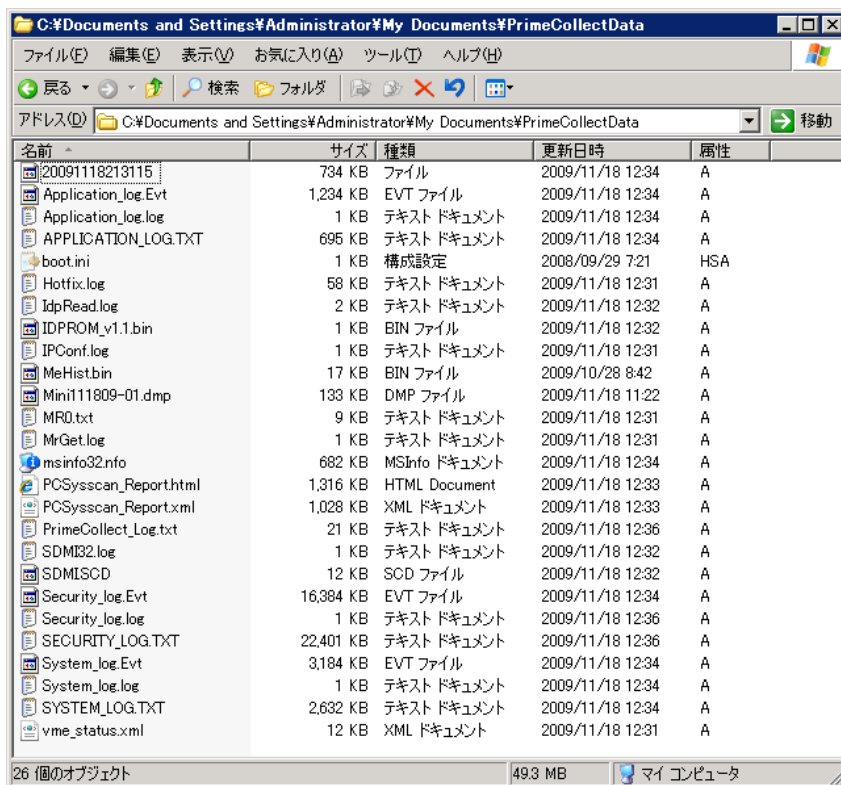
PRIMERGY サーバ上（ローカル）で起動した場合の画面例

- ▶ PrimeCollect を起動した後、「Collect Data」ボタンをクリックしてデータを収集します。
 -  PrimeCollect をオフラインで起動した場合は、外部データ媒体（例 USB メモリなど）を使ってデータを保存してください。
 -  PRIMERGY サーバ上でオンライン起動し、メモリダンプが存在する場合は、別途、zip ファイルとして格納することができます（サポート時に必要となります）。オフライン起動を行った場合は、OS にアクセスしていないため、フルメモリダンプを保存することはできません。
- ▶ 「Collect Data」ボタンをクリックし、データの収集が完了した後、「Save」および「Save Dump」ボタンをクリックして結果ファイルを保存してください。

2.2.2 zip ファイルの内容について

zip ファイルの内容はサーバの OS やシステム構成によって異なります。

圧縮ファイルには、次のような出力ファイルが格納されています（この図の後の表で、一覧を示しています）。



名前	サイズ	種類	更新日時	属性
20091118213115	734 KB	ファイル	2009/11/18 12:34	A
Application_log.Evt	1,234 KB	EVT ファイル	2009/11/18 12:34	A
Application_log.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:34	A
APPLICATION_LOG.TXT	695 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:34	A
boot.ini	1 KB	構成設定	2008/09/29 7:21	HSA
Hotfix.log	58 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:31	A
IdpRead.log	2 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:32	A
IDPROM_v1.1.bin	1 KB	BIN ファイル	2009/11/18 12:32	A
IPConf.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:31	A
MeHist.bin	17 KB	BIN ファイル	2009/10/28 8:42	A
Mini111809-01.dmp	133 KB	DMP ファイル	2009/11/18 11:22	A
MR0.txt	9 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:31	A
MrGet.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:31	A
msinfo32.nfo	682 KB	MSInfo ドキュメント	2009/11/18 12:34	A
PCSysScan_Report.html	1,316 KB	HTML Document	2009/11/18 12:33	A
PCSysScan_Report.xml	1,028 KB	XML ドキュメント	2009/11/18 12:33	A
PrimeCollect_Log.txt	21 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:36	A
SDMI32.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:32	A
SDMISC.D	12 KB	SCD ファイル	2009/11/18 12:32	A
Security_log.Evt	16,384 KB	EVT ファイル	2009/11/18 12:34	A
Security_log.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:36	A
SECURITY_LOG.TXT	22,401 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:36	A
System_log.Evt	3,184 KB	EVT ファイル	2009/11/18 12:34	A
System_log.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:34	A
SYSTEM_LOG.TXT	2,632 KB	テキスト ドキュメント	2009/11/18 12:34	A
vme_status.xml	12 KB	XML ドキュメント	2009/11/18 12:31	A

26 個のオブジェクト 49.3 MB マイ コンピュータ

ファイル	内容
20091118213115 (14 桁の数字)	ServerView アーカイブファイル
<i>Application_log.Evt</i> <i>Security_log.Evt</i> <i>System_log.Evt</i>	Windows イベントログファイル (バイナリ形式)
<i>Application_log.log</i> <i>Security_log.log</i> <i>System_log.log</i>	Windows イベントログファイル (テキスト形式) の作成ログ
<i>APPLICATION_LOG.TXT</i> <i>SECURITY_LOG.TXT</i> <i>SYSTEM_LOG.TXT</i>	Windows イベントログファイル (テキスト形式)
<i>Boot.ini</i> <i>BCD_Backup</i> <i>BCD_Backup.LOG</i> <i>BCD_Backup.LOG1</i> <i>BCD_Backup.LOG2</i>	Windows 起動パラメータファイル
<i>IDPROM_v1.1.bin</i>	バイナリ形式の IDprom データ
<i>IdpRead.log</i>	<i>IDPROM_v1.1.bin</i> の作成ログ テキスト形式の IDPROM データを含む
<i>IPConf.log</i>	Ipconfig ログファイル
<i>MeHist.bin</i>	メモリ PDA ファイル
<i>CeHist.bin</i>	CPU PDA ファイル
<i>MR0.txt</i> <i>MrGet.log</i>	MegaRAID ログファイル
<i>PCSysScan_Report.html</i> <i>PCSysScan_Report.xml</i>	<i>PCSysScan</i> プログラムの出力ファイルです。どちらも同じ情報が入っていますが、ファイル形式が異なります (xml および html)。ファイル内には、分析したシステムの総合的なハードウェア／ソフトウェアの情報が含まれています。
<i>PrimeCollect_Log.txt</i>	PrimeCollect アプリケーションのログファイルです。PrimeCollect 上で問題が発生した際、分析を行うためにこのファイルを調べます。

Table 2:

ファイル	内容
<i>RAIDLog.xml</i> <i>snapshot.xml</i> <i>SVRAID_Config.txt</i> <i>SVRAID_System.txt</i>	ServerView RAID による情報
<i>SDMI32.log</i>	SDM32-Tools の動作ログファイル
<i>SDMI.SCD</i>	DMI データ
<i>vme_status.xml</i>	VME-Agent のログファイル

Table 2:

バージョン 4.92、またはそれ以降のものは、さらに次のファイルも含んでいます。

ファイル	内容
<i>DDM_Archive.ddm</i> <i>DDM_Archive.txt</i>	DataDuplexManager アーカイブファイルです。

Table 3:

\$SystemRoot\$\MiniDump ディレクトリー式が存在する場合は、そのディレクトリも zip ファイルに格納されます。

3 Linux および VMware 環境での PrimeCollect

3.1 PrimeCollect の起動

PrimeCollect の起動方法は、お使いの環境により異なります。

3.1.1 管理サーバ（ServerView Operations Manager）からオンライン起動する場合

要件

- 管理サーバでは V4.91 以降の Operations Manager をインストールしてください。
- PRIMERGY サーバ上では、OS として Linux（RedHat / SuSE）、および V4.91 以降の ServerView エージェントのインストールが必要です。
お使いの OS 用の ServerView エージェントは、ServerView Suite DVD 1、また富士通の Web ページより入手できます。



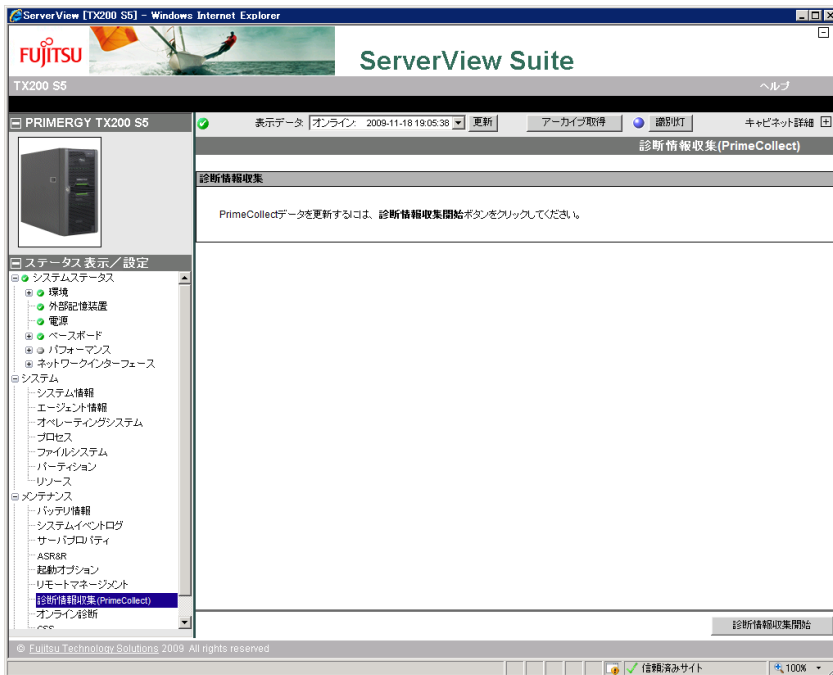
ServerView エージェントをインストールする際、PrimeCollect も自動的にインストールされます。

- RAID 情報を収集するには、ServerView RAID バージョン 2.3 以降、または LSI Global Array Manager（後者は LSI コントローラのみに対応）を必ず PRIMERGY サーバにインストールしてください。

管理サーバ（ServerView Operations Manager）からオンライン起動する方法

ServerView Operations Manager から PrimeCollect を起動する方法は、次のとおりです。

- ▶ 対象とする PRIMERGY サーバを、サーバー一覧から選択します。
- ▶ 「メンテナンスメニュー」の「診断情報収集 (PrimeCollect)」を選択します。



3.1.2 PRIMERGY サーバ上でオンライン起動する場合

要件

- PRIMERGY サーバ上で PrimeCollect をオンライン起動する場合、OS として Linux(RedHat/SuSE) または VMware、および V4.91 以降の ServerView エージェントのインストールが必要です。
お使いの OS 用の ServerView エージェントは、ServerView Suite DVD 1、また富士通の Web ページより入手できます。



ServerView エージェントをインストールする際、PrimeCollect も自動的にインストールされます。

- VMware 上で利用できない場合は、sharutils パッケージをインストールしてください。

PRIMERGY サーバ上でオンライン起動する方法

PRIMERGY サーバ上で PrimeCollect をオンライン起動する場合、2 つの方法があります。

スクリプトを呼び出す場合

- ▶ `/usr/sbin/` ディレクトリを選択します。
PrimeCollect のスクリプトが入っています。
- ▶ PrimeCollect のスクリプトを呼び出します。

3 Linux および VMware 環境での PrimeCollect

ServerView Suite DVD 1 の場合

- ▶ 「ServerView」→「Maintenance & Update」ディレクトリを選択します。

PrimeCollect のスクリプト、*PrimeCollect.shar* が登録されています。

PRIMERGY ServerView Suite - Mozilla Firefox

http://support.ts.fujitsu.com/prim_supported/SVSSoftware/html/index_e.htm

FUJITSU ServerView Suite

HOME | LINKS ENGLISH | DEUTSCH

Please choose a category

- Software Products V10.09.06
 - Java
 - ServerView
 - Agents
 - Deployment Tools
 - Integration Solutions
 - Maintenance & Update**
 - Operations Manager
 - RAID Manager
 - Remote Management
 - Storage Solutions
 - Virtual-IO Manager
 - VMware Supplement
 - AIS Connect

Maintenance

Description	File	Supported	Info	Version
ServerView PrimeCollect for Windows				
ServerView PrimeCollect application for Windows (32 bit)	PrimeCollect32.exe			
ServerView PrimeCollect application for Windows (x64)	PrimeCollect64.exe			
ServerView PrimeCollect for Linux and VMware				
ServerView PrimeCollect shell archive for Linux and VMware	PrimeCollect.shar			
sharutils rpm package for VMware	sharutils-4.2.1-16.2.i386.rpm			

© Fujitsu Technology Solutions 2009 All rights reserved

http://support.ts.fujitsu.com/prim_supported/SVSSoftware/Software/Maintenance/PrimeCollect/Windows/Windows_32/printst.htm

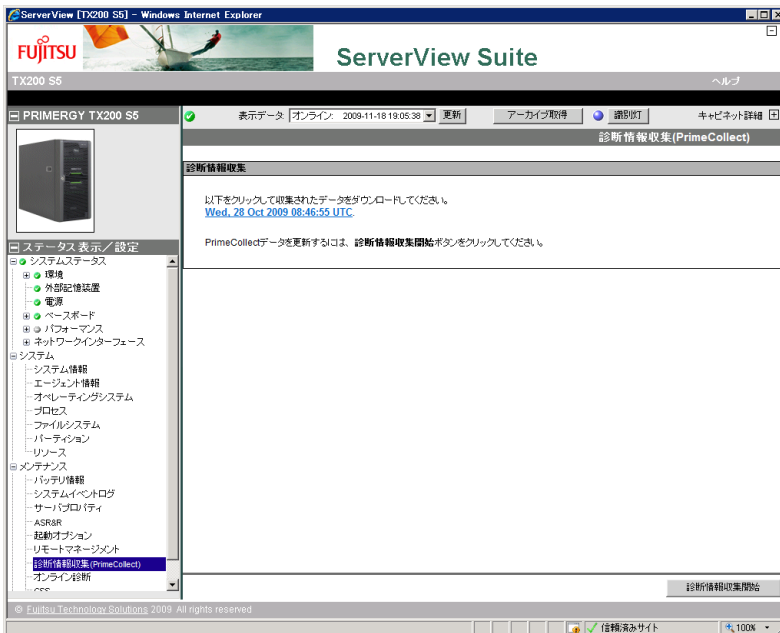
3.2 PrimeCollect の実行

PrimeCollect の実行は、以下の 2 段階からなります。

- (1) ハードウェア、ソフトウェアデータの収集
- (2) 上記の結果を、zip ファイルに格納

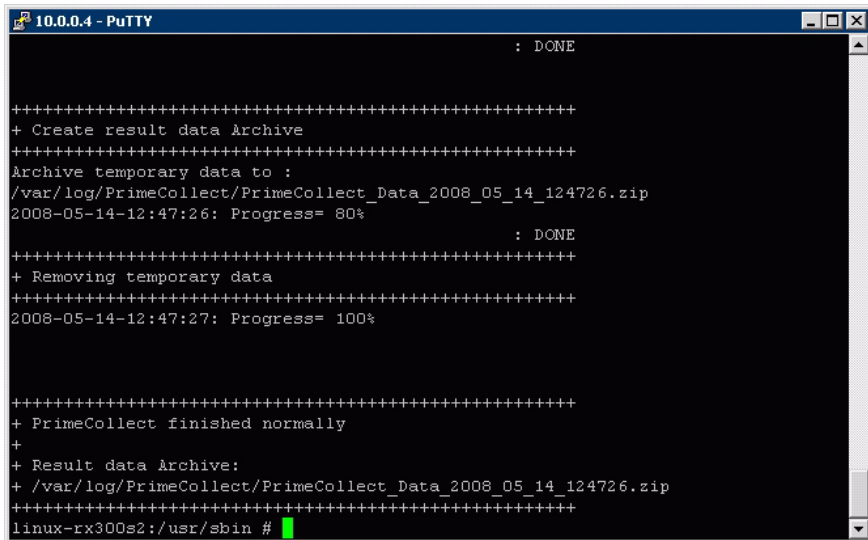
3.2.1 データの収集および格納

PrimeCollect を管理サーバ（ServerView Operations Manager）から起動した場合の画面例



- ▶ PrimeCollect を起動した後、「診断情報収集開始」ボタンをクリックしてデータを収集します。
「診断情報収集開始」ボタンをクリックした後にリンクが表示されます。
- ▶ 表示されたリンクをクリックして結果ファイルを保存します。

PRIMERGY サーバ上（ローカル）で起動した場合の画面例



```
10.0.0.4 - PuTTY
: DONE

+++++
+ Create result data Archive
+++++
Archive temporary data to :
/var/log/PrimeCollect/PrimeCollect_Data_2008_05_14_124726.zip
2008-05-14-12:47:26: Progress= 80%
: DONE
+++++
+ Removing temporary data
+++++
2008-05-14-12:47:27: Progress= 100%

+++++
+ PrimeCollect finished normally
+
+ Result data Archive:
+ /var/log/PrimeCollect/PrimeCollect_Data_2008_05_14_124726.zip
+++++
linux-rx300s2:/usr/sbin #
```

スクリプトを実行するとデータが収集され、zip ファイル内に自動的に格納されます（上記図をご覧ください）。

3.2.2 zip ファイルの内容について

zip ファイルの内容はサーバの OS やシステム構成によって異なります。
圧縮ファイルには、次のような出力ファイルが格納されています。

名前	サイズ	種類	更新日時	属性
proc		ファイル フォルダ	2009/11/18 23:03	
boot.log	2 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:47	A
cmdline	1 KB	ファイル	2009/07/01 14:47	RA
cpuinfo	5 KB	ファイル	2009/07/01 14:47	RA
df.out	1 KB	OUT ファイル	2009/07/01 14:48	A
dmidecode.txt	22 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
dmidecodeFSC.log	27 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
eedcdp.log	140 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
etc_srvmaget.zip	3,038 KB	圧縮 (zip 形式) フォ...	2009/07/01 14:48	A
fdisk.out	1 KB	OUT ファイル	2009/07/01 14:48	A
grub.conf	2 KB	CONF ファイル	2009/07/01 14:47	A
ifconfig.txt	5 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
interrupts	4 KB	ファイル	2009/07/01 14:47	RA
irmcview.log	57 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
lsmod.out	3 KB	OUT ファイル	2009/07/01 14:48	A
lspci.out	4 KB	OUT ファイル	2009/07/01 14:48	A
meminfo	1 KB	ファイル	2009/07/01 14:47	RA
out_uname	1 KB	ファイル	2009/07/01 14:48	A
PCSysScan.xml	1,010 KB	XML ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
PrimeCollect.log	51 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
PrimeCollectTempSpace.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
redhat-release	1 KB	ファイル	2009/07/01 14:47	A
Report.xslt	554 KB	XSLT ファイル	2009/07/01 14:47	A
rpm.txt	22 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:48	A
scsi	1 KB	ファイル	2009/07/01 14:47	RA
snmpd.conf	19 KB	CONF ファイル	2009/07/01 14:47	A
sosreport-y-941514-ff4aa6.t...	1,285 KB	BZ2 ファイル	2009/07/01 14:47	A
sosreport-y-941514-ff4aa6.t...	1 KB	MD5 ファイル	2009/07/01 14:47	A
sosreport.thlp	2 KB	ヘルプ ファイル	2009/07/01 14:47	A
sosreport.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:47	A
SVArchive.log	1 KB	テキスト ドキュメント	2009/07/01 14:47	A
tmp.err	1 KB	ERR ファイル	2009/07/01 14:48	A
var_log_messages.zip	47 KB	圧縮 (zip 形式) フォ...	2009/07/01 14:47	A
var_log_srvmaget.zip	6,582 KB	圧縮 (zip 形式) フォ...	2009/07/01 14:47	A

34 個のオブジェクト 125 MB マイコンピュータ

含まれている情報：

配信ツールの出力（例：sysreport、sosreport など）（インストールされていた場合のみ）

OS 情報およびログファイル

FlexFrame ログ（利用できる場合）

ハードウェア情報（PCsysScan.xml）

